

世界的な機械発明家

御法川 直三郎

みのりかわ なおさぶろう

出身地 秋田市

1856年（安政3年）～1930年（昭和5年）

農商務省蚕病試験場に学ぶ。製糸器械等の改良を志し、生涯に取得した発明特許は150を超え、ちよくそうしき たじようそうしき直繰式多糸繰機は、かたくら ぼうせき片倉製糸紡績に採用導入され、製品はミノリカワ・シルクの名でアメリカ市場で世界的声価をかくとく獲得した。



年譜

- 1856年 秋田市に生まれる。
- 1888年 さつきん熱殺菌機を発明。翌年、よくねん ざぐりき座繰機を発明。
- 1895年 みのりかわ御法川工場を建設し、各種発明製造にじゆうじ従事。
- 1908年 御法川二九式燃焼機の特許を得る。
- 1922年 だいはくらんかい平和大博覧会にちよくそうしき たじようそうしき直繰式多糸繰機を出品、きんぱいじゅよ かたくら ぼうせき金牌授与。片倉製糸紡績が採用し、だいはってん大発展。
- 1923年 かんそくど たじようしきそうしき緩速度多糸式繰機を発明、フィラデルフィア万国絹業博覧会に出品実演、ばんこくけんぎようはくらんかい名誉大賞を受賞。
ミノリカワ・シルク、世界的名声をめいせい かくとく獲得。
- 1930年 ぼつ東京都で没。74歳。